

〔授業概要〕

実務事前実習では、実務実習に必要な技能・態度を修得するため、次に掲げる①～⑱の項目について実習を行う。

中項目	小項目	授業方法
薬学臨床の基礎	①臨床における心構え ②臨床実習の基礎	講義／講演 SGD
処方箋に基づく調剤	③法令・規則等の理解と遵守 ④処方せんと疑義照会 ⑤処方せんに基づく医薬品の調製 ⑥患者・来局者対応、服薬指導、患者教育 ⑦医薬品の供給と管理 ⑧安全管理	講義 実技実習 演習 SGD
薬物療法の実際	⑨患者情報の把握 ⑩医薬品情報の収集と活用 ⑪処方設計と薬物療法の実践(処方設計と提案) ⑫処方設計と薬物療法の実践 (薬物療法における効果と副作用の評価)	講義 ロールプレイ 演習 SGD
チーム医療への参画	⑬医療機関におけるチーム医療 ⑭地域におけるチーム医療	講義／講演 SGD
地域の保健・医療・福祉への参画	⑮在宅(訪問)医療・介護への参画 ⑯地域保険(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画 ⑰プライマリケア、セルフメディケーションの実践 ⑱災害時医療と薬剤師	講義／講演 ロールプレイ SGD

実務事前実習のスケジュール

クラス編成	月	内 容
J1~3 3クラス	6	調剤実習(水剤・散剤・軟膏剤・注射剤) 無菌操作(衛生的手洗い・手袋着脱・ガウンテクニック)
	7	コミュニケーション実習・デバイス操作説明(吸入剤・自己注射) リスクマネジメント(調剤薬鑑査など)、疑義照会
	8	(夏休み)
A, B 2クラス	9	処方箋と調剤(高齢者・妊婦・小児・注意を要する患者) 配合変化実習(水剤、散剤、軟膏剤、注射剤) シュミレーターでの患者応対・服薬指導(コミュニケーション実習)
	10	処方提案(高齢者・妊婦・小児、肝腎障害患者) フィジカルアセスメント(身体所見と患者情報) 医薬品の管理(麻薬・向精神薬・生物学的製剤) 外部講師講義(薬局・院内製剤、在宅医療、チーム医療、薬学的管理、他)
	11	総合演習(実技、コミュニケーションの最終評価)
	12	OSCE
A, B	1	実務実習のためのアドバンスト実習(1クラスにつき2日間)